



冬期はこれから本番！問題は直ちに組合へ！

暖冬と言われた今冬期も年末に発生した降雪による計画運休、また架線凍結によるダイヤ乱れも既に発生しています。

東日本ユニオンは申12号2023年度冬期の取り組みに関する申し入れ団体交渉を行い、万全な体制の確立を求めてきました。

雪国である以上悪天候は避けられません。そのような環境でも公共輸送機関として安全安定輸送を担うことが求められています。その実現には社員・関連会社社員の安全が何よりも優先されなくてはなりません。東日本ユニオンはJR労働者の命を守るために安全な労働環境を創り出していきます。

まだ冬期は続きます。問題発生時は直ちに組合・役員にお知らせください。あらゆる手段で問題解決に取り組みます。

長岡車両センター廃止による影響はないか？

長岡駅における夜間留置車両は全て庫内、高架下留置として輸送室の体制も1名増加して今冬期対応しています。しかし、構内除雪は駅社員、設備社員が実施しますが、車両の屋根上除雪は車両職しか取り扱えないため新潟車両センターからの派遣となります。

無人駅ホーム除雪は万全か？

上家がないホームでは始発列車までに2両分除雪し、日中時間帯で編成両数分除雪を行うと会社は説明しています。

昨冬期は無人駅除雪が追いつかず圧雪により大変危険な状態となった駅もありました。また多量の降雪があった時に線路上の雪をホーム上に積み上げたために、車掌の状態注意ができない駅もありました。

お客さま・社員の安全を守るために列車の運行を見合わせて、除雪を徹底させることも場合によっては考えなくてはなりません。**業務上での発信と共に組合・役員までお知らせください。安全に関わる問題は緊急申し入れも含めて対応していきます！**

東日本ユニオンに加入して安全な労働環境を実現しよう！